



アスクル株式会社

2026年5月期 第2四半期決算説明（プレゼンテーション）

2026年1月28日

イベント概要

[企業名]	アスクル株式会社
[企業 ID]	2678
[イベント言語]	JPN
[イベント種類]	決算説明会
[イベント名]	2026 年 5 月期 第 2 四半期決算説明（プレゼンテーション）
[決算期]	2026 年度 第 2 四半期
[日程]	2026 年 1 月 28 日
[ページ数]	14
[時間]	15:30 – 15:43 (合計：13 分、登壇：13 分)
[開催場所]	インターネット配信
[会場面積]	
[出席人数]	
[登壇者]	1 名 取締役 CFO 玉井 継尋（以下、玉井）

サポート

日本 050-5212-7790
フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptsasias.com



エグゼクティブサマリ



物流センター出荷能力は回復、進行期は売上高回復に注力

26/5期 第2四半期実績および通期業績予想

- ✓ ランサムウェア攻撃によるシステム障害により大きな影響
- ✓ 第2四半期の実績を受けて中間配当は無配、通期業績予想および期末配当は未定
中期経営計画（26/5～29/5期）の重要戦略は継続、数値計画は精査

セキュリティ強化対策

- ✓ 原因分析と技術的安全対策は完了、今後はサイバーセキュリティ対策を含む
リスクマネジメント体制の再構築を図る

今後の売上高回復に向けた取組み

- ✓ サービスレベルは概ね正常化。主力商品のさらなる価格競争力強化、
大規模集客・販促等、売上高回復施策により、27/5期以降の業績回復を目指す

Copyright © ASKUL Corporation. All Rights Reserved.

3

玉井：こんにちは。CFOの玉井です。

まず初めに、昨年10月に発生したランサムウェア攻撃によるシステム障害に伴い、決算発表が大幅に遅れる結果となり、誠に申し訳ございません。改めて深くお詫び申し上げます。

本日は、2026年5月期、第2四半期決算の主なポイントに加え、これまで公表してまいりました情報も含めて、本事案の概要および対応状況についても説明させていただきます。

スライド3ページ、サマリーになります。

第2四半期につきましては、ランサムウェア攻撃に伴うシステム障害の影響により、売上、利益ともに大変厳しい結果となりました。

サポート

日本 050-5212-7790
フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptsasias.com

第2四半期業績の状況および売上高回復に向けて、過去最大規模の販促を実施していくことを踏まえ、中間配当につきましては、誠に遺憾ながら無配とさせていただくことを本日の取締役会で決議いたしました。

また、通期業績予想および期末配当につきましては、現時点において売上高の回復状況を合理的に算定することが困難なため、いずれも未定としております。

中期経営計画につきましては、重要戦略の方向性に変更はありませんが、数値計画については売上高の回復状況を見極めながら精査を進めてまいります。修正が必要と判断した場合は改めて公表させていただきます。

セキュリティ面につきましては、原因分析および技術的対策は既に完了しており、今後はサイバーセキュリティ強化を含めた全社的なリスクマネジメント体制の再構築を進めてまいります。

現在、物流センターの出荷能力およびサービスレベルは概ね平常時の水準に回復しております。今後は主力商品の価格競争力強化や集客・販促施策を積極的に実行し、2027年5月期以降の業績回復につなげてまいります。

26/5期 第2四半期累計業績

連結



(百万円)	25/5期 2Q累計		26/5期 2Q累計		
	実績	売上高 比率 %	実績	売上高 比率 %	前年 同期比 %
売上高	237,932	100.0	208,725	100.0	87.7
売上総利益	57,182	24.0	50,217	24.1	87.8
販売費及び 一般管理費	51,153	21.5	53,212	25.5	104.0
営業利益	6,028	2.5	△ 2,995	△ 1.4	—
経常利益	5,920	2.5	△ 3,814	△ 1.8	—
親会社株主に帰属する 当期純利益	3,739	1.6	△ 6,612	△ 3.2	—

- ✓ 売上高
前年同期比87.7%
- ✓ 売上総利益率
前年同期比+0.0pt
- ✓ 営業利益
前年同期差△90億円
- ✓ 当期純利益
前年同期差△103億円

Copyright © ASKUL Corporation. All Rights Reserved.

5

サポート

日本 050-5212-7790
フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptasia.com



まずは 2026 年 5 月期、第 2 四半期の実績について説明いたします。

スライド 5 ページ、2026 年 5 月期、第 2 四半期の実績になります。

売上高はランサムウェア攻撃に伴うシステム障害の影響により、11 月度の受注および出荷が一時的に停止したことから、前年同期比 87.7%の 2,087 億円となりました。

売上総利益率につきましては、為替ポジションは改善したものの計画通り価格競争力を強化したことから、前年同期並みの水準となっております。

一方、利益面につきましては、売上高の減少に加えランサムウェア攻撃に伴う対応費用を計上したことにより、営業利益は 29 億円の損失、経常利益は 38 億円の損失、当期純利益は 66 億円の損失となりました。

ランサムウェア攻撃による影響につきましては、後ほど説明させていただきます。

26/5期 第2四半期業績【四半期別・事業別】



(億円)		25/5期					26/5期			
		1Q	2Q	3Q	4Q	通期	1Q	2Q	前年同期差	前年同期比 %
売上高	ASKUL事業	883	899	890	911	3,584	910	597	△ 302	66.4
	LOHACO事業	95	85	93	93	368	101	58	△ 26	69.2
	グループ会社等	183	188	205	191	769	191	191	2	101.6
	eコマース事業	1,162	1,172	1,189	1,197	4,722	1,202	847	△ 325	72.3
	ロジスティクス事業・その他	21	22	19	25	88	20	16	△ 6	72.8
	連結合計	1,183	1,195	1,209	1,222	4,811	1,223	864	△ 331	72.3
営業利益	決算賞与(引当含む)等	1	1	1	1	4	△ 1	4	3	431.2
	eコマース事業	25	34	38	42	142	10	△ 35	△ 70	—
	ロジスティクス事業・その他	0	△ 0	△ 1	△ 0	△ 2	△ 0	△ 4	△ 4	—
	連結合計	25	34	37	42	140	10	△ 40	△ 75	—

Copyright © ASKUL Corporation. All Rights Reserved.

6

スライド 6 ページ、四半期別・事業別の 2026 年 5 月期、第 2 四半期の実績になります。

サポート

日本 050-5212-7790
 フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptasia.com

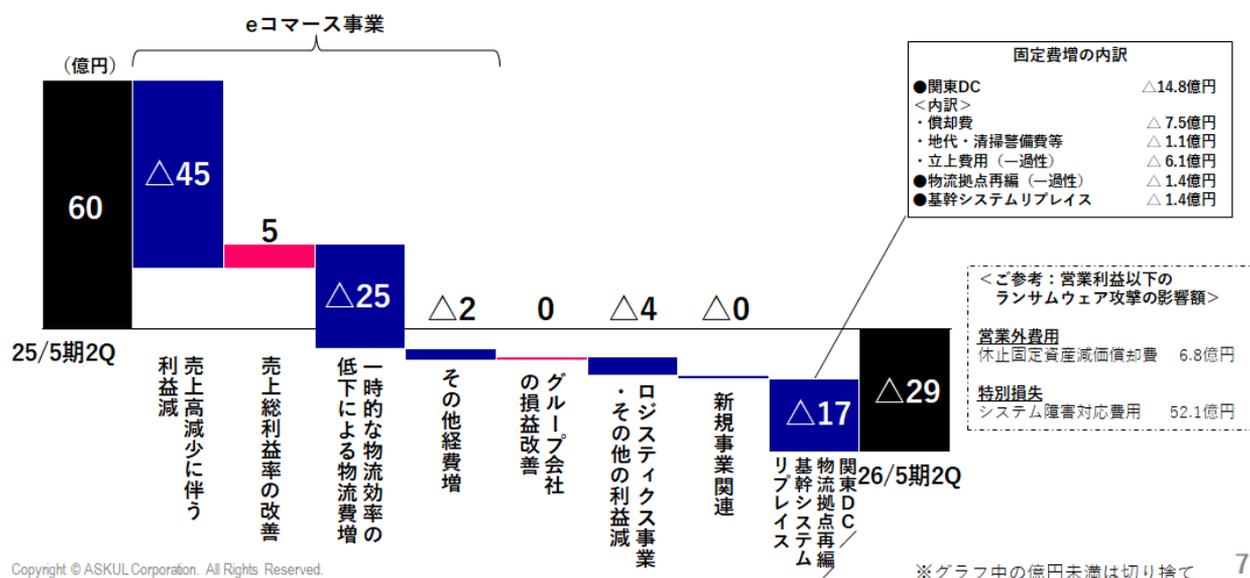


詳細につきましては、次のスライドで説明いたします。

26/5期 第2四半期 営業利益増減要因



ランサムウェア攻撃による売上高減少を主要因として減益



スライド 7 ページ、営業利益のウォーターフォールになります。

まず、今回の影響が最も大きく表れている項目ですが、グラフ左側に記載しております売上高減少に伴う利益減および一時的な物流効率の低下による物流費増になります。

売上高につきましては、ランサムウェア攻撃以前の 10 月度までは前期を上回る水準で推移しておりましたが、11 月度は大幅な減収となり、2Q 累計の売上高減少に伴う利益減は 45 億円となっております。

物流費につきましては、夏場の猛暑による飲料ケース出荷の増加や、関東 DC の稼働初期の一時的な物流効率の低下に加え、システム障害により手作業による非効率なオペレーションが続いたことで、25 億円増加しております。なお、25 億円のうち約 7 割はランサムウェア攻撃による増加と見ております。

一方、売上総利益率につきましては、為替ポジションの回復により多少改善しております。

サポート

日本 050-5212-7790
 フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptsasias.com



続いてグラフ右端に記載しております、関東 DC/物流拠点再編/基幹システムリプレイスに関連する費用についてです。今回のシステム障害に伴い、出荷停止期間中の物流センターにかかる償却費を営業外費用として計上しておりますが、その点を加味しても計画対比で多少コストが抑制できております。

また、グラフ中ほどのロジスティクス事業・その他についてもランサムウェア攻撃の影響を受けており、結果、営業利益は 29 億円の損失となっております。

営業利益以下の項目になりますが、出荷停止期間中のウェブサイトおよび物流センターにかかる償却費 6 億 8,000 万円を営業外費用として、システム障害対応費用 52 億 1,000 万円を特別損失として計上しております。特別損失の主な内容は、サービス復旧に備えた物流基盤等の維持費用やシステム調査・復旧費用、出荷期限切れ商品の評価損等になります。

これまで当社の強みとして物流配送基盤を独自で構築・推進してはりましたが、今回のような短期的かつ急激な売上減少の局面においては、結果的に物流配送業務の大半が実質的な固定費となっております、影響額が大きくなっております。

株主還元、通期業績予想・中期経営計画、資金調達



株主還元

- ✓ 中間配当：無配（一時的な業績への影響と売上高回復に向けた資金投下）
- ✓ 期末配当：未定（今後の業績動向を見極め慎重に検討）

通期業績予想・中期経営計画

- ✓ 通期業績予想：未定
- ✓ 中期経営計画：重要戦略は継続し、数値計画は精査

資金調達

- 手元資金の流動性を担保すると共に、売上高の再成長に向けて機動性を確保
- ✓ 当座貸越極度額：500億円

スライド 8 ページ、株主還元、通期業績予想・中期経営計画、資金調達になります。

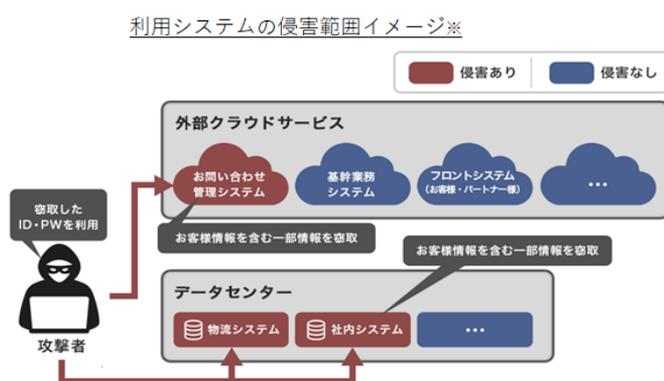
株主還元、通期業績予想・中期経営計画につきましては、冒頭のサマリーでお伝えしたとおりとなります。

資金調達につきましては、今後の売上高の再成長に向け、手元資金の流動性を確保する観点から、500 億円の借入枠を設定しております。これにより、機動的かつ安定的な資金調達体制を確保しております。

ランサムウェア攻撃の概要と対応



- ✓ 主に物流システムがランサムウェア感染、ASKUL・ソロエルアリーナ・LOHACOが一時的に出荷停止
- ✓ お客様情報を含む一部データが窃取・公開



攻撃の概要

- ✓ 物流システムや社内システムが暗号化
- ✓ 外部クラウドサービスへも侵害

初動対応と安全性確保策

- ✓ 不正アクセス経路の遮断、感染端末の隔離
- ✓ アカウント管理の再構築
- ✓ 新規システム環境を構築、移行

Copyright © ASKUL Corporation. All Rights Reserved.

※ 詳細は、2025年12月12日付プレスリリース「ランサムウェア攻撃の影響調査結果および安全性強化に向けた取り組みのご報告」<https://pdf.irpocket.com/C0032/PDLX/Q3bz/N403.pdf>

10

次に、ランサムウェア攻撃の概要と対策について説明いたします。

スライド 10 ページ、ランサムウェア攻撃の概要と対応になります。

今回の攻撃では、物流システムおよび社内システムの一部が感染し、ASKUL・ソロエルアリーナ・LOHACOにおいて、一時的にサービスが停止いたしました。また、攻撃者によりお客様情報を含む一部データが窃取され、外部に公開されたことも確認しております。

侵害の範囲につきましては、物流システム、社内システムに加え、外部クラウドサービスの一部に及んでおります。

サポート

日本 050-5212-7790
フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptsasias.com



発生後は、不正アクセス経路の遮断、感染端末の隔離、アカウント管理の再構築を速やかに実施し、安全性を確認した新規システム環境へ順次移行いたしました。

こうした一連の対応を経て、現在は安全性を確保した運用体制へと移行しております。

原因分析と再発防止策



課題の原因分析は完了、再発防止策を策定・取り組みを進める

課題	原因分析	再発防止策
不正アクセス	例外的に多要素認証（MFA※1）を適用していなかった業務委託先に付与していた管理者アカウントのIDとパスワードが漏洩	当社および業務委託先における ✓ すべてのリモートアクセスにMFAの徹底 ✓ 管理者権限の厳格な運用 ✓ 従業員の再教育
侵入検知の遅れ	✓ 一部物流センターでのEDR※2未導入 ✓ 24時間監視の一部未実施	✓ 全物流センターへのEDR導入を含む多層的な検知体制構築 ✓ 24時間365日の監視と即時対応体制整備
復旧の長期化	✓ オンラインバックアップが暗号化 ✓ ハードウェア機器へのセキュリティ対策手順に課題	✓ ランサムウェア攻撃を想定したバックアップ環境の構築 ✓ 機器管理の詳細化

※1 Multi Factor Authentication: IDやパスワードに加え、認証の3要素である「（スマホなどの）所持情報」「（指紋、顔などの）生体情報」のうち、2つ以上の異なる要素を組み合わせて認証を行う方法。多要素認証

※2 Endpoint Detection and Response: PC、スマートフォン、サーバといったエンドポイントに侵入したサイバー攻撃の痕跡を検知し、迅速に対応するためのセキュリティ対策

※3 詳細は、2025年12月12日付プレスリリース「ランサムウェア攻撃の影響調査結果および安全性強化に向けた取り組みのご報告」

Copyright © ASKUL Corporation. All Rights Reserved. <https://pdf.irpocket.com/C0032/PDLX/Q3bg/N4O3.pdf>

11

スライド 11 ページ、原因分析と再発防止策になります。

今回のシステム障害につきましては、外部専門機関と連携し、要因の特定と分析を完了しております。

その結果、不正アクセス、侵入検知の遅れ、復旧の長期化の3点が主な課題として明らかになりました。

サポート

日本 050-5212-7790
 フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptasia.com



詳細は記載のとおりですが、いずれも原因分析は完了しており、すでに再発防止策の実行に着手しております。

セキュリティ強化のロードマップ



セキュリティ基盤の成熟度を高め、リスクマネジメント体制を再構築

フェーズ	短期（発生～数週間）	中期（数週間～数か月）	長期（半年～）
目指す姿	サイバー攻撃の封じ込めと安全確保	“気づける・防げる・対応できる”体制へと進化	“より強いサービス”をつくるための継続的アップデート
対応事項	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 不正アクセス経路の遮断 ✓ 感染端末の隔離 ✓ 全アカウントのパスワード変更 ✓ 全端末のEDR強化 ✓ 残存脅威調査・対策 ✓ MFAの徹底 	<ul style="list-style-type: none"> ✓ SaaSログ監視の強化 ✓ EDR/メールセキュリティ/ネットワーク防御等の継続的強化 ✓ SOC※124/365管理高度化 ✓ IT/OT※2（物流設備）の統合的横断的リスク管理の高度化 ✓ セキュリティ研修プログラムの高度化（ロール別） 	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 不正アクセスを防ぐ仕組み・運用ルールを含むセキュリティ対策の継続的アップデート ✓ ランサムウェア事案を踏まえたBCP（事業継続計画）の見直し・強化 ✓ 外部専門機関による定期的なアセスメント実施

※1 Security Operation Center: ネットワークの監視を行い、リアルタイムで脅威を検知・対処する役割を担うサイバーセキュリティの専門組織チーム
 ※2 Operational Technology（運用技術）
 Copyright © ASKUL Corporation. All Rights Reserved.

12

スライド 12 ページ、セキュリティ強化のロードマップになります。

短期、中期、長期、3つのフェーズで必要な対策を体系的に整理しております。

短期では、サイバー攻撃の封じ込めと再発防止に直結する対策を最優先で完了しております。

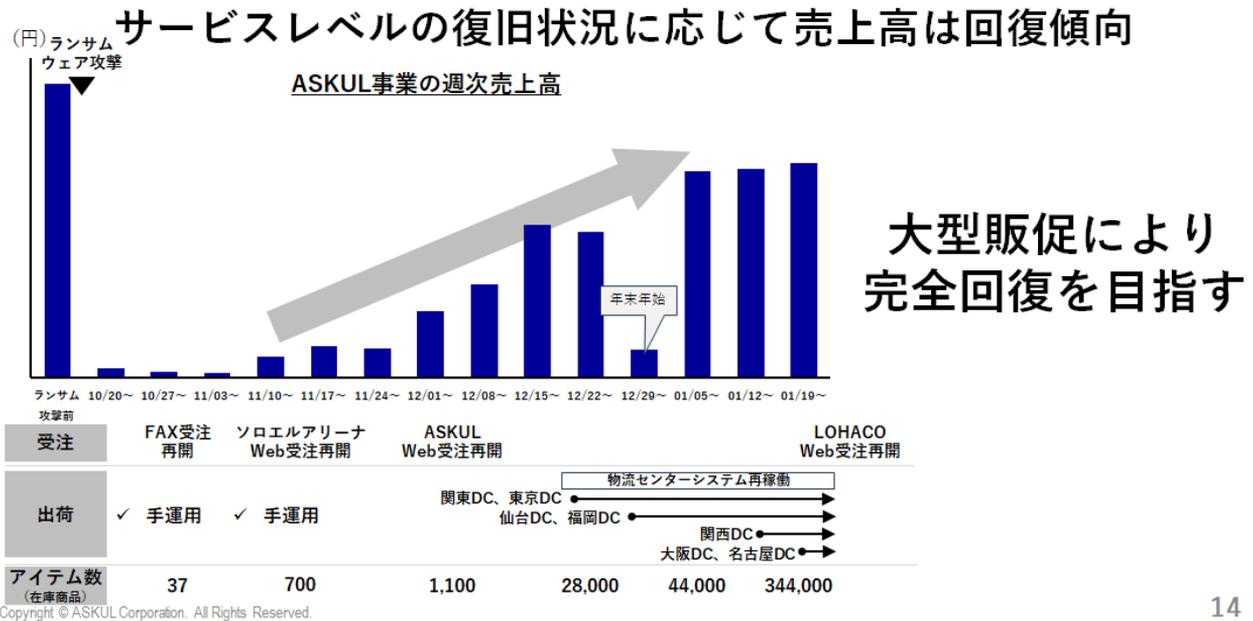
中期では、“気づける・防げる・対応できる”体制の構築に向けて、監視の高度化や権限管理の見直し、教育の強化を進めています。

長期では、外部アセスメントやBCP強化も含め、事業の安定運営に向け、基盤強化を継続してまいります。

サポート

日本 050-5212-7790
 フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptsasias.com





最後に、事業復旧状況と売上高回復策について説明いたします。

スライド 14 ページ、売上高の回復状況になります。

ランサムウェア攻撃直後は、ウェブ受注の停止や物流センターでの通常出荷ができなかったことから、FAX 受注や手作業による暫定的な運用が続き、売上は一時的に大きく落ち込みましたが、約 1 ヶ月後にはウェブ受注を再開し、約 2 カ月後には一部物流のシステムが復旧しております。

これに加えて、取り扱いアイテム数の拡大やサービスレベルの復旧が進んだことで、売上高は段階的に回復傾向が続いております。

1 月度につきましては、年末年始に伴う一時的な変動はあったものの、翌週には回復基調に戻っており、改善トレンドは継続しております。

現在は、ほぼすべての物流システムが復旧し、LOHACO 事業も再開しております。サービスレベルも概ね平常時の水準まで戻っており、今後は大型販促の実施により、売上高の完全回復を目指してまいります。

サポート

日本 050-5212-7790
 フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptsasias.com



過去最大規模の販促により 26/5期末までにお客様数の回復を目指す



- ✓ 主力オリジナル商品20%以上値下げと
メーカー人気商品の特別セール
(復活特別企画ティザーサイト：https://www.askul.co.jp/f/promotion_2601/)
- ✓ 継続的な価格競争力強化
- ✓ エージェントとの連携による営業力強化



- ✓ 賞味期限間近の飲料・食品などの大規模アウトレットセール
- ✓ 「まとめ割」対象商品拡大・割引率強化
- ✓ LINEヤフー、PayPayとの連携による集客拡大

Copyright © ASKUL Corporation. All Rights Reserved.

15

スライド 15 ページ。お客様数の回復へ向けた施策になります。

2026年5月期末までにお客様数の完全回復を目指し、過去最大規模の販促を展開してまいります。

ASKUL、LOHACOの両事業において、主力オリジナル商品の大幅値下げ、人気商品の価格競争力の強化、大規模アウトレットセールや「まとめ割」の拡大など、各施策を段階的に実施いたします。

また、法人向けにはエージェントとの連携による架電・訪問等の直接アプローチを強化し、個人向けにはLINEヤフー社等と連携し、大規模集客を進めてまいります。

足元ではお客様のご利用も確実に戻り始めており、これらの施策を順次投入することで、お客様数および売上高の回復を一段と加速させてまいります。

引き続き、サービスレベルの安定を確保しながら、成長軌道への復帰を着実に推進してまいります。

私からの説明は以上となります。今後も全社一丸となって企業価値向上に取り組んでまいります。

サポート

日本 050-5212-7790
フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptsasias.com



[了]

脚注

1. 音声不明瞭な箇所に付いては[音声不明瞭]と記載

サポート

日本 050-5212-7790

フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptasia.com



免責事項

本資料で提供されるコンテンツの信憑性、正確性、完全性、最新性、網羅性、適時性等について、SCRIPTS Asia 株式会社（以下、「当社」という）は一切の瑕疵担保責任及び保証責任を負いません。

本資料または当社及びデータソース先の商標、商号は、当社との個別の書面契約なしでは、いかなる投資商品（価格、リターン、パフォーマンスが、本サービスに基づいている、または連動している投資商品、例えば金融派生商品、仕組商品、投資信託、投資資産等）の情報配信・取引・販売促進・広告宣伝に関連して使用してはなりません。

本資料を通じて利用者に提供された情報は、投資に関するアドバイスまたは証券売買の勧誘を目的としておりません。本資料を利用した利用者による一切の行為は、すべて利用者の責任で行っていただきます。かかる利用及び行為の結果についても、利用者が責任を負うものとします。

本資料に関連して利用者が被った損害、損失、費用、並びに、本資料の提供の中断、停止、利用不能、変更及び当社による利用者の情報の削除、利用者の登録の取消し等に関連して利用者が被った損害、損失、費用につき、当社及びデータソース先は賠償又は補償する責任を一切負わないものとします。なお、本項における「損害、損失、費用」には、直接的損害及び通常損害のみならず、逸失利益、事業機会の喪失、データの喪失、事業の中断、その他間接的、特別的、派生的若しくは付随的損害の全てを意味します。

本資料に含まれる全ての著作権等の知的財産権は、特に明示された場合を除いて、当社に帰属します。また、本資料において特に明示された場合を除いて、事前の同意なく、これら著作物等の全部又は一部について、複製、送信、表示、実施、配布（有料・無料を問いません）、ライセンスの付与、変更、事後の使用を目的としての保存、その他の使用をすることはできません。

本資料のコンテンツは、当社によって編集されている可能性があります。

サポート

日本 050-5212-7790
フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptsasiasia.com